

# ♪♪♪ 宗次ホールおすすめ公演情報 2016年4月 ♪♪♪

チケットのご予約は 宗次ホール チケットセンターへ 052-265-1718(営業時間10:00-18:00)

みなさまこんにちは！新年度のはじまりですね。今月の宗次ホールは、4月12～14日まで休館日となっております。ですが全部で30公演、一般的に演奏会の少ないこの月にも関わらず、充実した様々な海外アーティストによるリサイタルや大人気の和物のスイーツタイムなど、バラエティ豊かな公演揃いです。その中でもいくつかピックアップして、お届けいたします♪

(文責:宗次ホール企画担当 廣田政子)

春日井市出身、ベルリン芸大にて更なる進化を続ける

## 北村 朋幹 ピアノリサイタル

4月9日(土)18:00開演 3,500円(学生2,100円)[指定]



1991年春日井市生まれの北村さん、10代の頃から数々の国際コンクールで受賞を果たし、国内外の主要オーケストラとも度々共演をされている、俊英です。ラ・フォル・ジュルネやテレビ朝日系の「題名のない音楽会」、NHK「ぴあのピアノ」、NHK-FM「名曲リサイタル」への出演などでご存じの方も多いかもしれません。

今回のプログラムに寄せてもまだ20代半ばとは信じがたい思慮深いコメントをくださった北村さんですが、いつも作品の作られた背景などを考慮して、最初から最後までを物語になるように、そのコンサート全体で一つの世界観を表現できるように構成を考えているそうです。その方が好きな曲をとりとめなく羅列するより、作品の本質に近づける、と。

「素晴らしい音楽の中で、作曲家はいつも夢を見ている」と話す北村さん。留学先のベルリンで、日課にしている散歩コースを歩く度に、何度も歩いた道をいざれ覚えて新鮮な驚きや喜びを感じることを忘れてしまう人間の哀しさを思うそう。そんな中だからこそ、夢見るような素晴らしい音楽に永遠に憧れ続けるのだ、とおっしゃいます。

ベルリンでその感性にますます磨きをかける北村さん、2015年にはイギリスで開催されているリーズ国際ピアノコンクールで第5位入賞を果たしました。過去受賞者にはラドゥ・ルプーやマレイ・ペライア、アンドラーシュ・シフや内田光子といった現代を代表する名ピアニスト達はその名を連ねるこのコンクールは、任意の指定作曲家の作品を課題曲に組み込むことができるといった特徴もあり、演奏プログラムの構成力も勝ち進むための重要ポイントになるという興味深い基準があります。そういった点でも北村さんのセンスが大変高く評価されたということであり、今回のドイツロマン派音楽の変遷を辿る物語をどう聴かせてくれるか、とても楽しみです！

## チェコが誇る結成30周年の名カルテット ウィハン弦楽四重奏団

4月10日(日)14:00開演 4,500円(学生2,700円)[指定]

1985年に結成されたチェコを代表するベテランカルテット。91年ロンドン国際コンクールで審査員満場一致優勝、95年には雑誌『音楽現代』の“マイベストコンサート”でベストワンに輝き、その実力は故・ユーディ・メニューインに激賞されるほど。ここ宗次ホールでもカルテットのマスタークラスで指導してくれたり、お馴染みの楽団です。



来日時は日本人ピアニストとの共演が多い彼らですが、今回はカルテットだけで3曲。そしてドヴォルザークやスメタナなどのお国ものがメインになることが多い中、日本では初披露となるベートーヴェンの大作を含むプログラムをお届けします。このような企画ができるのも宗次ホールならではの。彼らの奏するベートーヴェン後期弦楽四重奏作品は、アメリカの音楽雑誌『ファンフェア』でも“ウィハンは最高のアンサンブルだ…特筆すべきバランスの良さ、明瞭な表現、音質の美しさ(特にチェロ)…”と大絶賛されています。「実はオーケストラ作品よりも表現の幅が広い四重奏作品。そのため、より深い感情を込めることができ、大きな満足感を与えてくれるのです」と語るメンバー。演奏するにあたってメンバーで組み立てた作品の大きな枠組みがあり、演奏会ではその中で起こる絶え間ないインスピレーションで互いを刺激しあいながらその流れに従うとのこと。それも“互いのことを知り尽くしているからできること”だそう。カルテットの奥深さ、そして30年というこのグループの歴史を感じさせる阿吽の呼吸のそのもの。

“アメリカ映画で、誰かが死ぬシーンではチェロの音色がよく出てくる。そして恋に落ちるシーンはヴァイオリンが音楽を奏でる。辛い場面でもチェロが。チェロはある意味悲しい楽器”とチェロのカズブジークさんが語っていましたが、カルテットの中でそれぞれの役割を最大限に引きだし、ひとつの心をもって演奏し続ける彼ら。「弦楽四重奏作品は作曲家の心の最も奥深い告白」と話すウィハン弦楽四重奏団の演奏を、是非生で聴いてみてください。

2011年ウィーン・フィル首席フルート奏者に就任！

## カール＝ハインツ・シュッツ フルート 長崎 麻里香 ピアノ

4月27日(水)18:45開演 4,000円(学生2,400円)[指定]



その類まれな美しい音色と正確なテクニックで聴く者を圧倒するシュッツさん。札幌PMF音楽祭での来演など、日本でも人気急上昇中、その超一流の演奏に各地で大絶賛の声が。今年1月に惜しまれ

つつ他界した20世紀を代表する名手、オーレル・ニコレに指導を受けニールセン国際コンクールでも優勝、正確を極める超絶技巧と温かく厚みのある音色で、一昨年・昨年と東京でのリサイタルも満席でした。「ため息の出るような技」と日経新聞でも大絶賛。この時は彼自身の編曲によるプロコフィエフ「ロミオとジュリエット」組曲を披露して観客を沸かせてくれたそうで、“この曲は元々フルートで演奏するように作曲されたのではないか”と思わせるほどだったそう。今回の宗次ホール公演でもこの組曲がプログラムされています！ ムラマツフルートさんによる2月の人気CDトップテンではシュッツさんが堂々の第1位及び第5位にランキングされるという圧倒的な人気ぶり。早くも21世紀最高のフルート奏者の一人との呼び声も高く、ウィーン・フィルの歴史を一身に背負う彼の大変貴重な名古屋公演です！

名古屋出身の美しきエキゾチックヴァイオリニスト  
**Yui ヴァイオリン 近藤 由貴 ピアノ**  
**Vivid Classic**

4月29日(金・祝)14:00開演 2,500円(学生1,500円)[自由]



名古屋出身のYuiさん。東京藝大在学中からNHKや日テレの番組に出演、avexからCDをリリースと華々しい活躍をされています。近藤さんとのデュオでは何度もご出演頂いていますが、過去にはギターの伊藤芳輝さんとのディナータイムコンサートやシャンソン界で有名なアコーディオン奏者、ミシェル・グラスコさんとのデュオなど、様々なバラエティの音楽とその美しさに耳も目も楽しませてくれました。今回はYuiさんが「バリバリ実力派なのにほんわかした性格が大好き」とお話する近藤さんと名曲揃いのロマンティックなプログラムで聴かせてくれます。祝日だからこそ、お昼のコンサートにもおでかけしやすい！リサイタルがこのお値段というのも大変お得です♪

**お得なスイーツタイムコンサート！**

(料金・時間は一律です)

13:30開演 2,000円 自由席 ※終演15:00予定

プレゼントチケット(ギフト券セット購入のおまけ等)2枚で入場可能

★チャリティーシート(指定席)AB列中央付近23席限定

スイーツタイムコンサートは、これからクラシック音楽をじっくり聴いてみたいなあという方、夜は出かけづらいので昼間に本格的な演奏を楽しみたいなあという方にぴったり。国際的にも活躍するベテラン演奏家から気鋭の若手までが登場。みな2,000円ではお得すぎるほどの素晴らしい演奏家たちです。ご期待下さい！

**NHKニューイヤーコンサートにも出演で話題！**

4月16日(土)上野 星矢 フルート  
 松本 大樹 ギター



この1月には新春恒例「NHKニューイヤーコンサート」に、去年はテレビ朝日「報道ステーション」に出演され、NYカーネギーホールでのデビューリサイタルやラ・フォル・ジュルネに出演など、乗りに乗っている上野さんと、大津市出身でパリ在住、数々の国際コンクール入賞歴を持ち、同じラ・フォル・ジュルネびわ湖などで出演、話題の松本さんとの実力派若手デュオ。お二人ともパリに留学してその感性を磨かれ、松本さんは「もやっとしたフランス音楽が好き。絵画の世界同様、色の世界で混ざり合っている」と。今回のバラエティに富んだプログラムの中にもフランスの作曲家、イベールの「間奏曲」が含まれます。近年ではJ-POPのカバー曲を収録したCDをリリースして話題の上野さん、ジャンルの垣根なく心に響く作品に取り組む彼の姿勢とその歌心は『CDジャーナル』でも「ヴォーカリストが嫉妬す

る！？」と評されるほど。言葉のないフルートで、歌心をどこまで表現できるかという挑戦に執念を持っているとおっしゃる上野さん。言葉がないからこそ、言葉だけでは伝えきれない感情や気持ちそのものを、フルートでより表現することができるのではないかと。

2年前リヨン歌劇場管弦楽団来日公演の際に客演首席奏者として来日された上野さんの鮮烈なフルート・ソロに聴衆は騒然とし、「あの日本人は誰?!」とセンセーションを巻き起こしたという話も有名です。今をときめく俊英ふたりの共演。土曜日ですので、普段はお昼間のコンサートにお出かけできない方も、ぜひご来場ください♪

ベートーヴェンの交響曲をスイーツタイムで！  
 5月2日(月) 3人で奏でるシンフォニー  
 瀬崎 明日香 ヴァイオリン  
 上森 祥平 チェロ 菊地 裕介 ピアノ



同世代の実力派が集結し、ベートーヴェンをじっくりと聴かせてくれるこのスイーツタイムコンサート！2011年には「コバケンとその仲間たちオーケストラ」のコンサートミストレスを務め、その活動が映画「天心の譜」で紹介されたヴァイオリニスト、瀬崎さん。5月27日にはサントリーホールでコバケンさんとの共演も控えていらっしゃいます。ここ宗次ホールにも度々ご出演なさっており、過去にはフランスのオ人ピアニスト、エマニュエル・シュトロッセさんとの共演でも沸せてくれました。「ヴァイオリンという楽器と、クラシック音楽そのものが、人間の生み出した文化のなかにあって尊いものだと日々感じる」と仰います。この素晴らしい楽器の裏側にある人間の存在—作品を創った人、歴史の中でそれを演奏してきた人、そしてそれを育ててきた聴衆や会場、といった全てのおかげで今の自分が在る、とお話する瀬崎さんはとても素敵です。今回同封の瀬崎さんインタビュー記事も是非お楽しみください♪

チェロの上森さんは「ラ・フォル・ジュルネ」音楽祭をはじめNHK-BSプレミアム等にも多数ご出演なさっています。「第14回齋藤秀雄メモリアル基金賞」のチェロ部門受賞者にも選ばれ、賞を贈った堤剛さんからも「上森さんの生き様が、齋藤先生のそれと重なって見えるところがあります。」との言葉を贈られ、「我が身に震えが来るほど」感動したとお話される上森さん。そして5月23日には関西弦楽四重奏団としてご来演されますが、この四重奏団も大阪で「咲くやこの花賞」を受賞したばかり。大注目のチェリストです。

ピアノの菊地さんはジュネーブ、ベートーヴェンなど数多くの国際コンクールに入賞の経歴を持ち、ジャック・ルヴィエやアリエ・ヴァルディといった名手の元で研鑽を積んだ実力派。数々の録音をリリースし、その甘いマスクからは想像できませんが、音楽ジャーナリストの伊熊よし子さんにも「演奏も個性的で自発性に富み、迷いが無い。これからもっと大きく羽ばたく。」と大きな期待を寄せられています。「自己主張が強くストレートな話し方で、幼稚園の頃から浮いていた」とご自身を分析する菊地さんですが、その自己主張がヨーロッパに留学してからはプラスに働き、のびのびと過ごすことができたそう。ですが尊敬するピアニストの清水和音さんの前ではあまりしゃべらずおとなしく聞き役に徹しているのだとか！なんだか微笑ましいエピソードです。

こんな素敵なお三人組の奏でるオール・ベートーヴェン・プログラム。ヴァイオリンとチェロのそれぞれのソナタと、ベートーヴェンが格別の想いを込めて自身で編曲まで手掛けた交響曲第2番。これから益々の活躍が期待される音楽家の演奏をじっくり聴きにきてください。